

# カテーテルアブレーションを施術した非弁膜症性心房細動症例の 抗凝固療法の実態とその予後に関する観察研究 (RYOUMA Registry)

この研究は 2017 年 1 月から 2020 年 6 月まで実施されます。患者さんの登録期間は 2017 年 1 月から 2018 年 6 月までです。全国の患者さん 3,000 名の方に参加していただく予定です。参加に同意していただいた患者さんからは通常診療としておこなわれたアブレーション施術の前後(周術期(しゅうじゅつき)と呼びます)で受けられた検査のデータを収集し、退院後は定期的に当院に通院していただき(経過観察期と呼びます)、そのデータを収集します。もし、研究にご参加いただける場合は、アブレーションの施術から 12 カ月間の経過観察をおこないます。周術期・経過観察期の検査の時期と検査項目は研究スケジュールに示されています。この研究でおこなう検査は、通常診療でおこなう検査と何ら変わりはなく、得られた血液などの試料や情報は、抗凝固療法の実態や、健康状態を調べるために使います。

本研究は、国が定めた「臨床研究に関する倫理指針」を遵守し、当院での臨床研究倫理委員会(臨床研究の実施または継続について、倫理的観点及び科学的観点から調査及び審議する委員会)においてその科学性・倫理性について厳重に審査され、病院長の承認を受けて実施されます。